

ノーレットルールについて

さいたま市中体連テニス専門委員会

令和7年度新人大会から、ノーレットルールが採用されます。上位大会もノーレットルールを採用しています。選手がノーレットルールを十分理解し、大会参加ができるよう、各校顧問の先生方はご指導のほどよろしくお願ひいたします。

「ノーレットルール」とは

サーブされたボールがネット、ストラップまたはバンドに触れ、正しいサービスコート内に入った場合、サービスをやり直すことなく(レットすることなく)、インプレーとするルール

留意事項

- (1). サーブされたボールが、ネット、ストラップまたはバンドに触れて正しいサービスコート内に入った場合、ラリーを続けなければならない。
- (2). 「隣のコートからボールが入ってきた等のポイントのやり直し」のレットは従来通り存在し、SCU（ソロチェアアンパイア）がコールする。
- (3). サーブされたボールが、ネット、ストラップまたはバンドに触れて地面に落ちる前に、レシーバーまたはレシーバーのパートナーが触れた場合、レシーバー側の失点となる。
- (4). ダブルスにおいて、ネット、ストラップまたはバンドに触れて正しいサービスコート内に入ったサーブを返球できるのは、レシーバーだけである。(レシーバーのパートナーは返球できない。)